

【 日本ウェルネススポーツ大学 説明会 】

・「日本のスポーツには皆さんが必要」

プロ選手でもなく、特別なスキルがある人材でもない。

これから必要なのは、大学でスポーツをおこなってきた人物。

チームや個人の成績はあまり関係ない。

「なぜか？」

日本のスポーツが大きく変わろうとしている。

文科省が部活動の地域移行を基本方針に改革案を提出。

「どういうこと？」

スポーツと学校(教育)が分かれる

これからの日本のスポーツは、より地域や企業が支えるようになる。

「なぜ分けるのか？」

日本は学校教育の中にスポーツを組み入れた。

メリット →多くの子どもたちが基礎的な運動経験ができる

デメリット →より高度で専門的な指導は難しい

「どのような問題が発生したか？」

日本の子どもたちの競技レベルが大幅に上がった → 世界水準が求められる

学校の設備、指導者→世界水準？

教員の負担増、うつ、過労死、

教員志望者の減少→優秀な教員が採用できない→日本の教育レベルの低下

スポーツを維持→学校の支出増(税金)

「子供たちへより質の高い環境整備(ハード面、指導面)や学校の負担軽減のためには？」

スポーツと学校(教育)を分けていこう

「では今後はどうやってスポーツを支えるか」

地域や企業に支えてもらおう

・地域振興 / 広告党・CSR

しかし、、、「いきなり運営の母体となるクラブや支援してくれる企業が出てくる訳ではない」

「その時に必要な人材は？」

そのスポーツを理解していて、競技(ルール)だけではなく、関わる組織や必要なハード面(設備)、運営や課題を理解している人物

「なぜそれが、大学でスポーツをおこなってきた人物なのか？」

大学スポーツは学生が運営する

学生の時点で現状の問題把握や課題克服の経験ができる

選手目線、運営目線、両方の経験値を得られる

※学校の資金で、社会に出たら自分(会社)の資金

リスクがなく、大学はそういう経験(失敗)をさせてくれる、人を育てることが役割だから

だから本学の「スポーツプロモーション学部」は皆さんの人生を豊かにすることができる